

「学生を育てるコーチングスキル研修」のアンケート〈集計〉13/16名

研修実施日：2010年2月13日（土）午後1時～5時まで

場所： 浜松大学 本館 218号室

講師： 鈴木 正臣（NKS能力開発センター）

参加者数：16名

1. 今回の研修内容について、○良い・△普通・×良くない、で評価して下さい。

| 研修内容 | ○ | △ | × | 無回答 |
|---------------------|---|---|---|-----|
| 1. はじめに（導入） | 7 | 6 | 0 | — |
| 指導とコーチング | 7 | 6 | 0 | — |
| コーチングの考え方 | 9 | 4 | 0 | — |
| 2. コーチングの中核スキル | 6 | 7 | 0 | — |
| 人間の意識の構造 | 4 | 9 | 0 | — |
| 潜在意識に届く質問スキル | 6 | 6 | 1 | — |
| 3. 相手を導く3つの質問 | 9 | 4 | 0 | — |
| 相手を巻き込む質問の技術 | 8 | 5 | 0 | — |
| 可能性を引き出す傾聴のスキル・スキット | 8 | 5 | 0 | — |
| 心でさばく直感のスキル | 7 | 5 | 1 | — |
| 4. コーチングの流れ | 6 | 6 | 1 | — |
| コーチングの進め方 | 6 | 7 | 0 | — |
| コーチングの面談例 | 7 | 6 | 0 | — |
| 5. コーチングのまとめ（質疑） | 6 | 7 | 0 | — |

2. 今回の研修会で、良かったことを書いて下さい。

- ・実習があり、知識定着に有効であった
- ・演習の時間が多くあり、楽しみながら過ごせた
- ・体験型の講義で分かりやすい
- ・指導とコーチの違いについて整理できた (2)
- ・集中力を保って聞くことができた
- ・自己を客観視することができた
- ・相手から言葉を引き出す難しさ・大切さを改めて認識できた (2)
- ・顔なじみの先生方とのグループで、緊張せず演習できた
- ・全てを直ちに実践することはできないが、有効活用できる部分はあると思う
- ・基本はキャリアカウンセリングと同じ、違いも分かった

- ・ペアを組んだ先生と突っ込んだ話ができただ
- ・参加者同士のコミュニケーションが取れたことが何よりよかった
- ・一般企業へのコーチング講義が分かって有意義だった

3. 今回の研修で、良くなかったことを書いてください。

- ・コーチングの基本だけでなく、それを就職指導の現場にどう生かすかという問題も取り上げると良いのではないか
- ・演習前に自己紹介の時間があると良い
- ・演習内容によっては、教員同士・事務職員同士の方がよいのかとも思われる
- ・テンポが速く、中には理解が追いつかない箇所もあった
- ・ペア実習の相手が話上手の方で、スキルのうち相槌以外の手法が試せなかった
- ・無難な質問内容（大学について）だが、持論をお持ちの方々を対象にして潜在意識から引き出す会話にはなりにくいと感じた
- ・内容が浅く感じられた
- ・会場入りされた講師の先生の表情が柔和でなく、職業講師という雰囲気であった
- ・長すぎた

4. 今回の研修会で学んだことを学生指導にどう生かせますか。

- ・引き出すことを重視した学生指導を行うことができる
- ・生活指導、進路指導に生かしたい
- ・学生の現状とビジョンを根気よく引き出してあげることの重要性
- ・学生と面談する際に「相手を導く3つの質問」「傾聴の合図」や、「直感のスキル」で学んだ「返し方」を用いることができそう
- ・学生との会話の中で生かせる
- ・学生が発した言葉の意味を1つのメッセージとして受け止めていきたい
- ・コーチング研修は、以前にも研修済みである
(コーチング・スキルだけでなく、カウンセリング・スキルを含むメンタリング・スキルが必要と考え、実践している)
- ・基本的な技法や考え方は、既知の事柄である
- ・学生に普段接する際に気をつけている内容である
- ・学生との面談（但し、全教員が履行すると個性が没却されるのではないか）
- ・簡単な窓口対応こそ、傾聴を心掛けたい
- ・窓口対応に生かしたい、落ち着いた対応ができる
- ・特に活かせるところはない

5. また、どのような成果を期待できますか。
- ・学生の満足度の向上が期待できる
 - ・退学者の減少、就職率の向上
 - ・1人1人の学生の勉学意欲を引き出すこと
 - ・強制的にはなく、自発的な行動を促すことができるようになる
 - ・学生との会話を通して学生の諸活動を見守っていくことで、学生に自信を持たせることができそう
 - ・学生との相互理解を深めること (2)
 - ・学生の行動目標を設定できる臨床実習指導に効果的
 - ・具体的には不明（現状の学生の意思確認はできるが、士気を鼓舞するものではない）
 - ・傾聴を心掛けることで、簡単な事務のやりとりでも学生との（不快感につながる）トラブルは少なくなると思う
 - ・順序よく話を聴くことができる
 - ・今まで学んだことを再確認した
 - ・話が聞ける教員が増えることで、浜松大学全体の学生の質を高めることになる
6. 今後どのような研修が必要と思われますか。
- ・特定目的の研修が必要
 - ・就職指導に特化した研修
 - ・コーチングの基礎を確認しつつ、より発展的なことを学ぶ研修
 - ・どんな質問をしても「べつに」「ふつう」「特にない」と回答する学生や、会話がでない学生対応の研修
 - ・多様化する学生への指導方法についての研修
 - ・今後もFD/SD研修は継続していくべきである
 - ・就職支援だけでなく大学教職員全体を考えると、段階的（入門・基礎コース、アドバンスコース、管理部門、部門責任者コース等）な研修コースにした方が良い
 - ・企業募集・採用形態の現状、実際の採用試験などについて
 - ・コミュニケーションについて
 - ・演習形式の研修
 - ・教職員全てに共通の研修は焦点がぼやけてしまい、一般的で浅いものとなるためそれぞれの分野におけるプロとしての研修が望ましい
 - ・事例による研修
 - ・今回の研修がより理解できる研修（講師が不明慮である部分を要修正）

7. 机の設定などについて

| ①大変良かった | ②少し良かった | ③普通 | ④あまり良くなかった |
|---------|---------|-----|------------|
| 4 | 4 | 4 | |

〔理由〕・実習形式を意識した配置で適していた

- ・ペアを組みやすい配置だった
- ・小学校のグループ学習のように机を寄せ合う方式は、参加者の一体感を生み出しやすい設定であった
- ・お互いに話しやすい環境であったが、講師の先生に背を向けて話を聞くこととなる座席もあって残念 (2)
- ・話が弾んだ
- ・ペア学習では普通の配置
- ・参加者同士に比較的強い人間関係を生じさせることができる

8. 講師について

| ①大変良かった | ②少し良かった | ③普通 | ④あまり良くなかった |
|---------|---------|-----|------------|
| 5 | 4 | 3 | |

〔理由〕・今回の「一般的コーチング研修」と「浜松大学の具体的な就職指導」を関連づけて、もう少し系統だった具体的な問題提起が欲しかった

- ・全体的にレジメに触れることが少なかったが、わかりやすい説明だった (2)
- ・ユーモアを交えた話法であった
- ・演習を入れながらの講義で分かりやすい
- ・参考になった
- ・演習も入れながら、予定通り時間内に要領よく説明されていた
- ・知識不足だがごまかさず、正直で一生懸命、かつ神経的である

9. 参加人数について

| ①大変良かった | ②少し良かった | ③普通 | ④あまり良くなかった |
|---------|---------|-----|------------|
| 8 | 3 | 1 | |

〔理由〕・少人数で適切であった (5)

- ・妥当な人数であった (講師の方が1人1人に気を配ることが可能な人数)
(参加者も他のグループを参観するのにちょうどよい人数) (2)
- ・少人数なので集中できた・聞きやすかった・お互い気軽に話せた

10. 全体的にみて、この研修の内容についてどうか

| ①大変良かった | ②少し良かった | ③普通 | ④あまり良くなかった |
|---------|---------|-----|------------|
| 4 | 6 | 2 | |

[理由]・主催者側の計画の全体像と目的を、参加者側に徹底すると良い

- ・概ね満足
- ・体験を通して理解するスタイルであったが、レジメ自体の説明が欲しかった
- ・短時間で要点を学ぶことができた
- ・色々参考になった・勉強になった (2)
- ・コーチングについてもう少し知識を深められたら、実践的に役立つであろう
- ・具体的に、1つの内容あるものを経験できた
- ・教職員の方は既に解っている内容であった
- ・努力に敬意を表します

11. その他、何かご意見がありましたら自由にお書きください。

- ・全員参加することで、窓口対応や、電話対応の向上が期待できると思う
- ・コミュニケーションスキルは、教員だけでなく、職員にも必要である
- ・学生の一番身近な社会人でもある教職員を、区別することなく積極的に参加できる機会を作って頂きたい
- ・大変勉強になりました、ありがとうございました
- ・話術を学びたい
- ・この研修内容はあまりにも自明で初歩的であり、本学の臨床心理の専門家の先生の方が、遥かにこの領域に精通している
今までも似たような研修を多く受講しているが、さほど身に付いた感はない
本当に講習な必要な教職員を対象に、内容を絞って行うべきである
- ・お疲れ様でした

以上